



男体

第36号
平成17年1月1日発行

あけましておめでとうございます

あなたの人生航路

あなたの今乗っている船はどんな船ですか？
一口に船といっても、ササ舟から豪華客船まで
水に浮かぶものは全て船といえるでしょう。

それでは、船らしきものを挙げてみます。サ
サ舟、ボート、カヌー、いかだ、ヨット、サー
フィン、カッター、客船、カーフェリー、貨物
船、帆船、戦艦、幽霊船、泥舟……。さて、
あなたはどれに乗っているのでしょうか。

船は、推進力としての漕ぐ人と、何処へ行く
のか舵を取る人で成り立っています。私たちス
カウト運動の船も、方向性・企画の舵
を取る人と、計画・実行を推進するた
めの漕ぐ人が必要ですね。

この1年はみんなで、「船」を
テーマに議論をしてみませんか。

私たちが今乗っている船は、どん
な「ふね」なのでしょう？本当に
良い船なのでしょう？

何も考えずに、みんなが乗ってい
るからというだけで、自分の船が何
であるのか想像したことなどな
い……。それではさびしいですね。みんな
で船のイメージ作りをやってみませんか。

さあ、それでは身近なところで『県連丸』は
さっきの船の中のどれにあたりますか。それと
も、全然違うものですか。

船のイメージが決まったら、
それらの構造や仕事などを分解
して、それぞれの役割に置き換
えてみると面白いと思います。



わたしは船長、単なる客とか、いやマ
ストだ、オールだ、港がなくちゃ、錨、
修理するのにドッグも必要だ……。

イメージをふくらませながら、ケンケン
ガクガク。それは、それは、たくさん出
てくるでしょう。

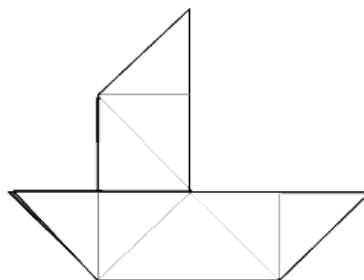
ところで、この船はどこへ？ えっ！



2005.1.1

ボーイスカウト栃木県連盟

理事長 森山一政



目 次	
国際交流の夕べ	2-3
南部地区指導者講習会	3
技能章考査員	3
西部地区カブビーバーディ	4
県キャンポリー情報	4
隊長のひとりごと……	5
事務局のうごき	6

国際交流の夕べ

ボーイスカウト活動において、国際性を唱えながらもスカウト自身になかなかその機会を提供出来ない中、初の試みとして、11月20日 県連事務局に於いて、アジア学院研究科生との国際交流の夕べを開催することが出来ました。その国際交流の夕べのポイントは次の6つでした。

- その1 マスメディアを通さず、外国の生の声を聞くこと。
- その2 日本と同じアジア圏から見た日本の国を知ること。
- その3 ボーイ隊・ベンチャー隊と同年代の青少年がどのような生活をしているのか知ること。
- その4 NGOアジア学院について知ること。
- その5 一人々々が必ず質問をすること（中学校以上には極力英語で）
- その6 この会に参加することにより、ボーイ隊はターゲットバッジ地球市民を取得すること。



ちなみにアジア学院研究科生とは、過去に1年間日本で農業・リーダーシップ等を学んだのち母国でその実践を行い、再度日本へ研修に来ている方たちで、今回の夕べにはインドとミャンマー（旧ビルマ）から将来それぞれの母国で必ずや国のリーダーとなりうる人たちが協力してくれました。

交流会は通訳を介し、彼らの作った郷土料理を味わった後、たくさんの興味深い話を伺いました。その中で、彼らが日本人をどう見ているかでは、日本人は集中力と物事を深く考える所がすばらしいとの話がありました。

また、我々ボーイスカウト（日本の青少年）に望むことではアジアの国々をもっと良く知って、アジアは1つであるという気持ちを持ってもらいたいとの話がありました。

その為には、我々はもっと英語を勉強して、視野を広げる努力が大切であると、改めて痛感致した次第です。

県連グローバル副委員長 東原 勇二



「国際交流の夕べ」に参加して

交流会に参加して、インドのマルコスさんから、様々な話を聞くことが出来た。その中で印象に残ったのは「コミュニケーションを通じて、お互いを理解し合うことが大切」と言っていたことだ。マルコスさんの話しの中で、尊敬する人が同じであることや、僕たちとインドの人々の生活・宗教の違いを知った。相手を理解することは、自分との価値観の違いを理解することから始まると思う。人を理解する、ということの意味を考える機会となった交流会だった。

河内 1 団 丸山 耕平

南部地区 指導者講習会

12月5日(日)、冬とは思えない程暖かい晴天のもと、佐野市中央公民館で南部地区指導者講習会が、黒崎博孝主任講師のもと開催されました。



参加者6名全員男性で、平均年齢30歳と、少数精鋭で内容の濃い講習会になりました。質疑応答では質問が多数寄せられ、受講者の皆さんの真剣さが伝わってきました。

参加者は、佐野市以外の方でしたので、昼食は佐野ラーメンを食べてもらい、好評でした。

技能章考査員

下記の方々が、新たに技能章考査員に任命されました。技能章を修得する際にはご連絡下さい。



	東部地区	西部地区	南部地区	北部地区
炊事章	鈴木栄治(宇都宮18) 橘豊祐(宇都宮15) 酒井綾子(宇都宮15)	吉澤 徹(鹿沼1) 疋田尚義(鹿沼1) 高村由美子(今市2) 福田正子(今市2) 山口 修(今市2) 柴田 修(今市2)	高尾 一(佐野4)	佐藤郁夫(那須2) 石川秀忠(那須7) 束原勇二(那須7) 網野憲治(那須7) 高野 亘(那須7) 古谷清一(那須7)
野営章	寺門 久(宇都宮13) 田中勝己(宇都宮13) 杉本万里子(宇都宮13) 酒井綾子(宇都宮15) 和良品文之丞(宇都宮15) 鈴木栄治(宇都宮18) 篠崎真二(真岡1)	吉澤 徹(鹿沼1) 柴田 修(今市2) 高村由美子(今市2) 福田睦夫(今市2) 岡田篤志(今市2) 西村光幸(今市2)	高尾 一(佐野4) 橋本邦彦(小山5)	石川秀忠(那須7) 束原勇二(那須7)
野営管理章	田中勝己(宇都宮13) 杉本万里子(宇都宮13) 遠藤晴美(宇都宮13) 鈴木栄治(宇都宮18)	岡田篤志(今市2) 西村光幸(今市2)	高尾 一(佐野4) 橋本邦彦(小山5) 近澤 亘(小山3)	石川秀忠(那須7)

西部地区カブ・ビーバーディ開催！！

11月28日(日)に約140名のカブスカウトとビーバースカウト、40名のリーダー、保護者が鹿沼の野外活動センターに集まりました。

スカウトはペットボトルにそれぞれの好みのマジックで色々な模様を書き、そこに小さな懐中電灯を差込み、世界にひとつだけのランタンを作りました。例によって机に書くもの、自分の手に書くもの、色々アクシデントの発生もありましたが、何はともあれ、素晴らしいランタンが多数完成しました。



地区委員長や地区プログラム委員長、各団のリーダーが審査委員となって、スカウトの「世界にひとつだけ」のランタンを評価し、30名の作品に「きれいに出来たで賞」「すばらしいで賞」「良く出来たで賞」が贈られました。また、それ以外にも大変頑張った作品もありました。

お昼には保護者の皆さんが作ってくださった豚汁と、お家の方が用意してくださったお弁当を秋晴れの下でいただきました。きっと良い思い出になった一日だったでしょう。

参加したスカウトの皆さん、いつまでもランタンと同じように、心から綺麗に素晴らしい光を放ってください。君たちの活躍と素晴らしい飛躍を見えていますから。

最後になりましたが、各リーダーとお手伝いのボーイ・ベンチャースカウトに感謝いたします！！

西部地区副コミッショナー
疋田 利秀

県 キャンボリー 情報

今回は、ボーイスカウト隊の諸君とカブ隊のくまスカウトへのメッセージ(おしらせ)です。

県キャンボリー-の日程が決まりました。

2005年8月9日(火)～13日(土)の4泊5日。

場所は、ナスカの森です。

男体11月号で、「ナスカの森に咲く花を観た人がいるかどうか聞いてみてください」と書きましたが、まだ聞いていないようであれば、ぜひ、隊長に聞いてみてください。

ところで、皆さんは、ナスカの森の言い伝えを隊長から教えてもらいましたか？

「ナスカの森にある天狗堂にお守りを奉納した者たちは、花を観ることができる」

「ナスカの天狗のお守りは、花を観たいと願う者たちのところに、バラバラに散って届く」

「ナスカの天狗は花が咲く年を知らせる使命を持っている」

「ナスカの森に咲く花はナスカの天狗が守っている」



など、全部で8つの言い伝えがあります。これらの言い伝えが何を伝えようとしているのか、一度、班や隊で話し合ってみるとよいでしょう。そして、隊長にも聞いてみてください。

今年の初夢には、かすかに記憶に残っているナスカの天狗のお守りが出てきました。多分、皆さんの手元にナスカの天狗のお守りが届き始めたからだと思いますが、まだ届かないようであれば、もう少しの間、知恵と勇気と技を磨き続けてください。

そして、「ナスカの森に咲く花」を、今夏、皆で観ましょう！！

ナスカの森に咲く花。今、久しぶりに花が咲こうとしているらしい。

隊長のひとごと……

上進式・叙任式開催

宇都宮第十五団ローバー隊として、初めての叙任式を開催する事が出来ました。当団のローバー活動は、数年前のローバー活動から少し活力がなくなり、今回、昨年以上進ローバーの、叙任式をやろうということで盛り上がり、9月19日 団キャンプの中日（2日目）に、福岡町森林公園において、叙任式を挙行了しました。

お天気にも恵まれ、20時からの闇の中、ローバー隊が準備した衣装や、小道具で、スポンサーに先導され、スクワイヤーの叙任式が開始されました。

当日は、14時からビーバー隊の入隊式、カブ隊、ボーイ隊の上進式、ベンチャー隊の誓いの再確認を含めた上進式が、行なわれており、叙任式会場は、80名ほどのスカウト、父兄の見学者が居りましたが、声一つ立てず、幻想的な式典を見ていただく事が出来ました。



各年代の上進式の違いを見せる事が出来、カブ、ボーイの子供達も「ベンチャーになれば、あんな上進式。ローバーになるとこのような叙任式をやってもらえるのか」と、上進を心待ちにする声も聞かれました。大変有意義であったと思います。

ビーバー、カブの子供達が、ローバースカウトまでスカウト活動が続けられたらと思います。叙任されたスカウトも、「自分のためにこれだけの式典を」と、仲間の絆がより固くなったようです。

今回、企画運営した、ローバー隊幹事長の労をねぎらうとともに、これからのローバー隊の活躍に期待します。

宇都宮第十五団ローバー隊隊長
福田 通孝

事務局の動き

平成16年

- 11月 6日(土) 理事会
- 11月13日(土) とちぎ教育の日
- 11月14日(日) わくわく夢体験の船実行委員会
- 11月20日(日) 国際交流の夕べ(県連事務局)
- 11月26日(金) コミッショナー会議

- 11月27日(土) 全国事務局長会議
- ~28日(日) 全国ディレクター会議
- 技能章考査員講習会(那須野営場)

- 12月 2日(木) 開発委員会
- 12月 4日(土) 臨時理事会
- 12月 5日(日) 南部地区指導者講習会(佐野市)
- 関東ブロック会議
- 12月12日(日) 今市2団50星霜
- 12月16日(木) プログラム委員会
- 12月20日(月) 組織委員会

今後の予定

平成17年

- 1月 8日(土) 新春の集い(真岡市)
- ~9日(日)
- 1月 9日(日) 理事会
- 1月30日(日) スカウトソング研究会(今海市)
- 2月 5日(土) 各種委員長連絡会
- 2月 6日(日) 西部地区指導者講習会(今海市)



作:をかもと 凧

発行責任者 日本ボーイスカウト栃木県連盟理事長 森山一政 / 編集責任者 組織委員会委員長理事 黒崎博孝 発行部数 2500部

日本ボーイスカウト栃木県連盟 機関紙

320-0043
 栃木県宇都宮市桜四丁目2番2号
 電話 028(621)9800
 Fax 028(621)9800
 Email bstochig@m14.alpha-net.ne.jp

ホームページもぜひ見てください。
[Http://ex.as.lancenet.or.jp/bstotigi/](http://ex.as.lancenet.or.jp/bstotigi/)



「男体」は地球環境にやさしい大豆を原料としたインク(SOY INK)を使用しています。